

教団新報

定 価 1部 140円(本体 133円 千共 200円)
予約購読料 1 年分 千共 5,000 円
紙代のみ 3,500 円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話
03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内 藤 留 幸
編集主筆 竹 澤 知 代 志



国分寺教会 (西東京教区・多摩地区)

洗 礼

会津若松市に生まれ育ったわたしの生活が一変したのは、高校3年生の夏に友人二人と共に教会の門をくぐった時からです。恐る恐る訪れた教会で応対された牧師夫妻は年若く、気さくに話しかけてくださいました。米国人宣教師夫妻が一月間、町に滞在しているの

で、集会に出てみなさい、帰る日もありました。牧師

さんから「教会学校を手伝ってくれ」と頼まれ、深い考えもなく引き受けました。次には、子どもたちにも聖書の話をするようにと言われ、冷汗をかきながら子どもたちの前で聖書の話をしたのです。すると、子どもたちが楽しそうに聞いてくれたのが病みつきとなり、何度となく話をするようになりました。

それから5か月が経ち、牧師さんから洗礼を勧められましたが、家族の中でクリスチャンのいないわたしには、それはとても無理なことになったのです。ですが、どこからか「神にできないことは何一つない」(ルカによる福音書1章37節)との天使ガブリエルの言葉が心に響いてきたのです。思い切つて受洗準備の時を持ちました。それでも不安は心の片隅にあり、このま

まで洗礼を受けてよいものかと迷わない日はありませんでした。

クリスマス礼拝前日のことでした。わたしは、思いあぐねて友人の家を訪ね、友人とお母さんに、洗礼のことを相談してみました。「大丈夫。家族みんなが反対したら、わたしの家に来なさい。面倒見るから」とお母さんの言葉に励まされ、

本気で洗礼を受けようと、その時、心は定まったのです。家に戻り、夕食後に家族に集まってもらい、洗礼の決心を話しました。家族は皆、真剣な顔でわたしの話を聞き、しばらく沈黙が続きました。兄が口火を切つて言いました。「どうせ三日坊主だからな、お前は。すぐに、ヤーマタ、という

ことになるさ」。姉たちも母も、それもそうだ、と言わんばかりの顔でしたが、反対する者もなく、その場は意外にもあっさりとなまつてしまいました。翌朝、真つ白な雪の中のクリスマス礼拝を迎えたのです。

わたしとほぼ同時に教会に通い始めた仲間と共に洗礼式に臨みました。牧師さんから将来のことについてわたしの考えを聞かれ、教育者の道を考えていると話しました。「君は、人間を獲る漁師の道はどう思うかね」と、牧師さんは「自分のことについて話し始められたのです。」

牧師さんから将来のことについてわたしの考えを聞かれ、教育者の道を考えていると話しました。「君は、人間を獲る漁師の道はどう思うかね」と、牧師さんは「自分のことについて話し始められたのです。」

クリスマス メッセージ

マタイによる福音書1章18〜25節

その時、インマヌエルを見た



若月健悟

お知らせ
「教団新報」次号4690・91号を合併号として、1月30日に発行します。なお教団三局は12月24日、25日、クリスマス休暇、29日から1月4日は休業します。1月5日より通常業務となります。
総幹事 内藤留幸

荒野声

▼「良心なんてものは、お説教に集まった信者たちをおどすために牧師が発明したものにすぎないのよ。たいていの人には、良心は臆病の別名にすぎないのよ。それに、私は臆病じゃないわ。病弱な夫を殺して遺産を手にしようとした女は、疑心暗鬼に捕らわれて次々と無用な殺人を重ねる。『探偵を捜せ!』。パット・カーク、創元推理文庫」▼

格別意味の深いセリフでもないが、辛い出来事が重なった時には、こんな言葉も棘のように心を刺してくる。「信仰とは弱者の倫理だ」とか、陳腐な言葉にも、心が弱っている者には、グサリと来る。▼

そんな時、心臓バイパス手術を受けたばかりの85歳になる婦人を見舞った。手術痕も痛々しいのに、表情は至って明るい。「お医者さんにも看護婦さんにも恵まれて幸せです」。▼四方山話の流れで、「聖書を読むと直ぐに眠くなつて、私の睡眠薬です。御言葉が一緒だと思つとすつかり安心してしまいます」。そして、「あつ!牧師さんの前で、ゴメンナサイ」。▼否、素晴らしい証しを聞いた気分だ。癒されて病院から教会に帰った。▼本当の信仰は恐怖などではない。主が共にいて下さる、御言葉が導いてくれる、その安心が、キリスト者の良心だ。▼時間を忘れるほど聖書を読みふけるのも信仰の業だろうが、睡眠薬になるのも、信仰の業だ。

出 会 い

クリスマス・イヴの礼拝の準備をしていた時のことです。大学病院から電話があり、「二人の患者さんが、是非、賛美歌を聞きたいと希望しているのですが、聞かせていただけますか」とのことでした。丁度、聖歌隊の練習が始まるところでしたので「どうぞ」と返答しました。ストレッチャー

に伏した若い女性 が、主治医、看護師、ご両親に付き添われて到着し、聖歌隊の賛美に涙を流しながら聞き入っていました。翌年初め、ご両親が相談を受け、娘に洗礼を授けてほしいとの申し出を受けました。ご両親も一緒に洗礼を受けたいとのことでしたので、役員会はその承認し、病院での洗礼式に臨みました。広い個室も、ご両親、主

治医、看護師、ソーシャルワーカー、教会役員、そしてわたしで一杯になっていました。賛美歌を歌うことが許され、静かな声で歌い終えてから、わたしはたずねました、「キリストの十字架と復活による罪のゆるしと救いを信じますか。かすかな声で「信じます」との娘さんの返答、わたしが受けたように、聖水に手をつけ、額に手をおいて感謝の祈りを献げました。すると、

聖霊の息吹が部屋一杯に満ち溢れたようにわたしたちの心を満たし、涙がとめどなくあふれてきたのです。「インマヌエル、感謝です」と口を衝いて出た言葉に我々に返り、洗礼式も感謝に満たされて終えることができました。

ああ今ここに神の子が新たに誕生したのだ、との確信が与えられ、まことに神我らと共にいますインマヌエルの現実を見せていただきました。

いた思いに満たされました。今もそしてこれからもインマヌエルの現実がわたしたちを救いへと招いています。その娘さんは、受洗した後、間もなく天に召されましたが、キリストが天と地を一つに結び、共に生きる喜びを証していることを思うのです。このクリスマスに、新たなインマヌエルの現実を見せていただきました。

(国分寺教会牧師)

日本伝道 150 年記念諸集会を終えて

献身・伝道の思い掻き立てられる幸いな時
内藤留幸(総幹事)



自筆の看板の前で。左は藤盛総務幹事

日本基督教団 日本伝道150年記念大会
2009年10月23日(祝日)午前10時

記念大会を行
い、千数百名
の参加者と共に
「宣教とい
う愚かな手
段」(小島誠志
前教団議長に
よる礼拝説教

日本伝道150年記念諸
集会を終えた今、静かに実
施された一つ一つの集いに
想いを馳せ、感謝の念を新
たにしています。

世界と歴史を支配したも
う主キリストが宣教師たち
を日本に派遣されて福音の
種を播き、それが確実に育
って教会形成となり、ミッ
シヨンスクールや福祉施設

を誕生させ、多くの先達た
ちを召し出して日本の救い
のためにお用いになられま
した。

このたびは、こうした思
みの事実を数えて献身の思
いと更なる伝道の意欲を掻
き立てられる幸いな時でし
た。

◎6月24日(水) 富士見町
教会で教団創立68周年記念

プロテスタント日本伝道
150年記念、能登半島地
震被災教会堂再建のための
チャリティーコンサート
が、アドベント前夜、11月
28日午後5時から銀座教会
で開催された。

ヘンデル作曲「メサイア」
を上演、ソリストに五十嵐
郁子(ソプラノ)、佐々木
まり子(アルト)、川瀬幹
比虎(テノール)、清水宏
樹(バス)の声楽家を迎え、
合唱は銀座教会聖歌隊、弦
楽合奏はメサイア・アンサ
ンブル、オルガン筒井淳子、
草間美也子(銀座教会音楽



能登半島地震被災教会堂再建のためのチャリティーコンサート

広い会堂も400人の会衆でぎっしり

主任」が指揮した。

開場前から教会前に長い
列が出来て、開場と同時に
会堂は400人の会衆で埋
め尽くされた。メサイア全
曲53曲中37曲を演奏する本
格的なもので、合唱を受け
持った聖歌隊は、この日の
ために主日ごとの訓練、合
宿などの特別訓練を積み重
ねて来た。総勢33人、一部
に賛助出演もあったが、日
頃の訓練を忍ばせる整った
素晴らしい出来だった。

テノールで賛助出演した
長山信夫牧師は、閉幕の挨拶で、「07年3月に発生した
能登半島地震で被災した教
会会堂再建のため、教団は
支援資金を呼びかけている
が、1億5千万円の目標に
対し、あと2千数百万円に
までたどり着いた。能登伝
道の灯を消さぬため、一層
のご支援をお願いします」
と訴えた。

(永井清陽報)



伝道150年記念諸集会、盛会の内に「段落」

東京教区東支区 青年部ワークキャンプ

伊豆大島・波浮教会で会堂のペンキ塗り

10月10日、12日、東京
教区東支区青年部のワー
クキャンプが、大島波浮
教会において行われた。

10日に東京竹芝橋から
船に乗り、11日早朝に大
島到着という強行軍。大
島を初めて訪問する参加
者から「こんなに大変だ
と思わなかった」と「島
の子」たちが支区のキヤ
ンプや集会に出席するこ
とに、自分たち以上の努
力が必要なおももん
ぱる声も聞かれた。イ
ンフルエンザの流行で、
欠席者の相次ぐ中、それ
でも19名の青年が波浮教
会に集った。

到着後、青年たちは波
浮教会で聖日礼拝を守つ
た。神学校日ということ
もあり、参加者の一人で
ある久保哲哉神学生(東
神大M2・西新井教会員)

が講壇を担当した。教会
員からは「神学校日に神
学生が来るのは20年ぶ
り」との声も聞かれたと
いう。

礼拝後の懇談会では波
浮教会の会員手作りの昼
食を取りながら、交わり
の時を持った。島の教会
は青年を育てても、進学
や就職で出て行く。育て
て送り出された教会に、
若い人たちが来て
くれてうれしい」と歓迎
を受け、涙を流して喜ぶ
教会員と交わりを持つこ
とで、これからの教会に
対する自分たちの責任を
感じさせられた時であ
った。初めて知る島の生
活、周囲の人から常にク
リスチャンとして見られ
る環境で培われた、強固
な信仰とクリスチャンと
しての自覚に若い世代が

良い感化を受けたひとと
きだった。

ワークの主な作業は会
堂のペンキ塗り。島の生
活は、本土の生活とは違
い、自分たちでやらなけ
ればならないことがたく
さんある。業者を頼むと
本土よりも割高になるこ
ともある。教会員が下塗
りをした会堂に青年たち
が丁寧にペンキを塗つ
た。青年たちの意気込み
は見えない所にまでペン
キを塗っていく程だつ
た。ちょうど修養会で大
島に来ていた支区内の教
会が差し入れに訪れ、作
業を見学するなど、青年
たちの働きが注目され
ていることも感じられた。
12日の午後まで作業は続
き、全員心地よい疲労を
味わった。青年たちから
「これからもワークを続
けていきたい、知らない
教会のことをもっと知っ
て、一緒に歩む者になっ
ていきたい」との感想が
出た。今回のワークキャ
ンプは波浮教会のご厚意
で材料や食事が全て賄わ
れた。ワークキャンプを
受け入れる教会の財的負
担は大きい。今後、支区
内でその問題を解決し
て、この交わりを続けて
いくことができれば、実
りは大きいと思える。

帰る間際、入り江を回
り込んだ所から会堂を見
た。来た時にはくすんで
見え辛かった会堂が白く
浮き上がり、特に十字架
がはつきりと見える。こ
の小さな島で、キリスト
の福音もこのようにはつ
きり示されるように、と
願う思いが与えられた。
(辻順子報)



十字架を塗るのは牧師と神学生の仕事

口の言葉が結ぶ実によって
人は良いものに飽き足る
人は手の働きに応じて報い
られる。 …箴言 12:14

生まれて初めての
ペンキ塗り



第2回靖国・天皇制問題小委員会

小川幸子、小林 休、	森松民子	(2009・11・23 受按)	教師異動	活水学院	長崎学院	土浦	鎌倉水辞
				辞(教) 大野惠正	就教) 大野惠正	辞主 吉岡誠人	(主) 篠田真紀子
						辞(代) 嶋田恵悟	
						辞(担) 嶋田恵悟	
						就主 嶋田恵悟	

徳島北	就代 春名康郎
〃	辞主 廣瀬隆司
善通寺	就代 大田健悟
〃	辞主 廣瀬隆司
大阪生野	辞主 原 忠和
〃	辞担 小林 明
〃	就主 小林 明

第4回教師検定委員会

り、考えさせられるこ
あつた。

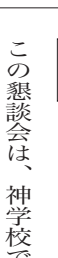
神学校では、それぞ
リキュラムも違い、人
育のあり方も異なるの

何
 問
 別
 とは
 基

しれないが、何度も参
 て、もつと知つてもら
 いと思うし、それを持
 つて、それぞれの神学
 役立ててもらえればと
 てやまない。

(川上稷報)部落解放

525



神学校等人権教育懇談会報告

すことの重要性は改めて言うまでもない。私自身も今回この協議会に初めて参加して、初めて出会う方もあり、考えさせられることもあった。

役立ててもらえればと願ってやまない。

（川上穰報／部落解放センター活動委員）

春名康策

原忠和

明

見を交

1997

自身もへ

2011-12

才否才

も参加し、

神学校

平文之



真実な礼拝

八木原敬一（喜多方教会牧師）

れを見ていたはずなのに、目に入
つていなかった。今思うと、その
出会いがわたしの人生を変えた。
掲示板の案内を見ると、ちょう
ど礼拝が始まる時間。

実はそのまま通り過ぎようとも
思ったのだが、なにかバチがあた
るような気がして、中に入った。
入ると、幼稚園の広い園舎に、
パイプイスをこぢんまりと並べた
礼拝堂である。見まわすと、高齡
の婦人が多く、10人ほど。

オルガンがなく、今のようにヒ
ムプレーヤーもなかった時代だか
ら、若い牧師先生が賛美歌を歌い
始めるとみんなが歌い出した。

でも、穏やかで落ち着いた雰囲気
は、「ここには何か確かなものがある」と魅かれるものを感じた。
礼拝が終わるとみんなで車座にな
ってお茶を飲んだ。

話の内容は覚えていないが、教
会を出て、予定通り市内見物をする
頃にはとても温かい気持ちにな
り、心の半分はその教会のことを
考えていた。

ここにも教会があり、主
イエスの福音を待ち望んで
いる方たちがおられる。そ
して、福音を語る牧師がも
とめられている。

いつかはボクも牧師にな
れるかな？これが、わた
しの召命の最初だった。

だが、それは一粒の泡の
ような思いにすぎなかつ
た。それから10年を経ても、
ボツリボツリと時おり思い
出すだけ。

神学校に行こうかな…行
きたいな…行かなければ…

今からもうかれこれ30年以上も
前になる。当時わたしは、映画の
仕事をしており、東北の小さな町
でロケをしていた。

洗礼を受けてから（厳密に言え
ば「堅信礼」だが）一年ほど経っ
ていたが、教会生活はあまり熱心
ではなかった。

サラリーマンとは違って、曜日
には関係のない不規則な生活。だ
から礼拝も、行ったり行かなか
った。

その日はたまたま撮影が日曜日
に休みになり、自転車を借りて市
内見物に出かけた。

すると駅前から道を数本隔てた
場所ですんなり教会に出合った。
「へえ、ここに教会があるんだ
ア」

ちよつとうれしい驚きといっし
よに、思いがけない場所で懐かし
い人に出合ったような感動をおぼ
えた。

子どもの頃通っていた九州の小
さな教会を、中学1年の時に父親
の転勤で去ってから、東京の比較
的大きな教会ばかりを見ていたの
で、偶然出くわした田舎の小さな
教会がとても懐かしかった。

全国どこにでも教会はある、そ



年末年始 路上生活者・生活困窮者支援

炊き出しボランティア、 夜回りボランティア募集

昨年末は派遣切りにあつた派遣労働者が日比谷公園に急遽設営された年越し村で新年を迎えました。今年の労働環境は昨年より一層悪く、派遣労働者だけでなく正規労働者もリストラに遭つて失業し日々の食事に事欠く人が増えています。今回、NCCは仏教NGOネットワーク、新日本宗

教団体連合会など他宗教とも共同して公園等で生活している路上生活者や失業して生活のめどの立たない方々の支援を行い、更に行政に働きかけ、世論を喚起して、困窮者の衣食住の問題解決に寄与したいと考えておりますが、その支援活動の一環として炊き出しのボランティア体験をしていただきたく、皆様に参加をお願いいたします。教会や

日本キリスト教協議会（NCC）非常勤幹事
◎メール takasukeji@ma@ncc-j.org
◎ファックス 03-3204-9495

◎あなたのご参加をお待ちしております。

「兵庫県南部大地震記念の日」追悼礼拝
◎時 2010年1月17日（日）午後6時
◎所 日本基督教団 神戸教会
◎主催 岡合ゼミ兵庫教区 TEL 078-85614127
◎メッセージ「震災15年くさやかな関わりの中で感じたこと」 穂積修司牧師（播磨新宮教会）

第7回「農」に関する協議会開催

◎時 2010年2月22日（月）14時～23日（火）11時30分
◎所 アジア学院
◎講演 菊地 創氏（西那須野教会員、元アジア学院職員）
◎発題 長嶋 清氏（西那須野教会員、元アジア学院職員）、大津健一氏（アジア学院校長）
◎アジア学院見学、アジア学院の農作業に参加
◎費用 教区推薦（交通費、宿泊費伝道委員会負担）自主参加（実費自己負担）
◎申込・問合せ 教団伝道委員会（TEL 03-3202-0544）

1939 年生まれ。金属引き物職人。下谷教会員。

日本プロテスタント伝道150年
は多くの恵みを残して終ろうとしている。
最後の記念式典であつた11月22日の「日本伝道150年記念信徒大会」、翌23日の日本基督教団としての「記念大会」後日詳しく報告されるであろうが、盛会そのものであつた。

6月24日の教団創立記念日の集会を含めて語り継がれるであろう豊かな内容であつた。記念委員の奉仕を多としたい。記念委員の150年集会反対の強い理由にあつたベッテルハイム宣教師の働

きをどの集会でも覚えたり、超教派のレベルでも163年の意味をも記憶しつつ課題を共有しえたことは感謝であつた。今回改めて自覚させられたこと

キリストこそ我が救い

受洗者を生んでいた。現在では80名で1人である。いかに伝道力が落ちていくかが分かれられる数字だ。対策会議や協議会も必要であろうが、何よりも一人一人が今回の主題にある「キリストこそ我が救い」という信仰に徹することである。そしてその告白に裏打ちされた証しを多様に展開していくしかない。

多くの参加者が与えられた感謝以上に、信仰の喜び、熱気が充満していたことがうれし。

50年前は現住会員10名で1人の（教団議長 山北宣久）